

- 特集 **食道がん** 細川正夫 社会医療法人恵佑会理事長
- ピープル **渡辺由美** 恵佑会札幌病院副院長・看護部長
- Q&A **内視鏡検査(胃カメラ)**
- クローズ・アップ **指定居宅介護支援事業所 恵佑会**



食道がん

細川正夫

社会医療法人恵佑会理事長

飲酒で顔が赤くなる中高年男性は要注意!
食道がんは最近患者数が増加中で
がんの中でも転移しやすいといわれています。
細川正夫理事長が
食道がんのリスクや治療について解説します。



ほそかわ まさお

北海道大学医学部卒業。市立旭川病院外科、国立がんセンター病院(東京)外科レジデント、北海道大学病院第2外科(現、消化器外科Ⅱ)を経て、1981年、恵佑会札幌病院開設。2011年より社会医療法人恵佑会理事長。

どんな病気?

食道がんはのどから胃にいたる食道の粘膜に発生するがんです。がんの中でも悪性度が高く、かつては長期の生存が難しいといわれましたが、近年は診断、治療法、術後管理などの進歩によって、生存率が上昇しています。ただ、がんが進行するほど、治りにくくなるのも事実です。

早期には症状がほとんどありません。静かに進行していき、症状が現れた時にはかなり病状が進んでいます。一般にはのどがつかえたり、のどが詰まったりする感覚に始まり、進行すると食べ物が飲みにくくなる、声がかれる、咳が出る、やせるなど、多様な症状が見られるようになります。

日本では、女性と比べて男性が5～6倍ほど多く、特に50歳以上の男性は注意が必要です。

原因は?

食道がんは喫煙や飲酒が影響しているといわれています。男性に多いのも、これらの危険因子をもつ人が多いためです。特に中高年男性で、お酒にそれほど強くなく、飲むと顔が赤くなる人や、喫煙習慣のある人は注意してください。

また、逆流性食道炎(胃液が食道に逆流し、食道が炎症する病気)など食道の病気が長引くと、食道がんが発生する素地をつくるともいわれています。それ以外でも、極端に熱い飲み物を頻繁に摂取したり、辛い食べ物など刺激物の取り過ぎは避けたほうがいいでしょう。

診断方法は?

早期の食道がんの多くは、内視鏡検査で発見されています。当院では内視鏡検査の際に食道の壁にヨードを塗布して診断しています。染色すると病変部は染まらないため、白い部分ががんであることが判定できます。